面の城壁を占據し、

日章旗を揚げた

午前九時三十分北の正門の一角を占領せり

十分東側城壁を占領し、日章旗を掲げた

心原城内を爆撃

現れ、地上部隊の突撃と呼應して望樓及び城内兵營に猛烈な空爆を敢行した、城内の敵

出發した我○○機は午前と時寒風を衝いて太原城上空【太原城外晋城村八日同盟至急報】八日早朝○○基地を

極東赤軍首脳部間にこの

の敵を猛災 蘇州河南岸

朝来退却を開始 蘇州河南岸の敵

城内掃蕩を開始 [太原八日同盟至急報]東側及北側城壁の一角を占領し

青戦を展開猛烈な掃蕩を開始した

堪忍袋の緒を切る

烈なる攻城戦

【北京八日同盟至急報】軍司令部午前十時三十五分發表—大場部隊は

、太原城八日同盟至急報」萱島部隊は八日午前九時十三分太原城東正

時十三分太原城烒壁東城門の一角を占領せり

北京八日同盟至急報]八日午前十時半軍發表==萱島部隊は八日午前 天津八日同盟至急報】八日午前九時十三分太原城は遂に陷落した 寒き山西省の

組閣に成功ス白國外相 言相財職後後繼内開成立せず

> スパーク外相が八方が走の結果が つつ待ちに持つた個軍の副門は

に漁田した安軍と協力、山日太

キロの館派用クリーク設橋を

【七日】

党は年末の際第の関

「富士」

批製に接起った愛国

20 本府明年度豫算概

脚な特面は本年度費

れ、新畑要求の主

一月一日大盛省に回

南河の蔵を攻撃中の富士井部隊を開始した一方が相河を渡つて

太原城外普城村八日间盟】太原

斷すべく急追 敵の退路を遮

時までに南門より温ますべし」

る配の退路を消散すべく太原西

對日政策を轉換 一方から太原域を睨み一太原域を三方より包囲しつつあつ一り開展動告を行つたが、

攻城戦を展開空陸呼應して

して猛烈た空遠呼艦の攻域職を展

一蘇の空氣緩

自業は一般自計査定法となるので

て古に関する大概

なるべく、健つて職議ぎれて中旬

売野に墓を守る女

本所質局も極力自

手加減を以て駆け機様の要線費と目されるので

經復等を舉げられて 道數設並に改修、産

とはいづれる時局職

海包圍の體勢に

機能張風を衝いて蘇州河南岸及黄 【上海八日同盟】陸の系懸軍は今

職職間に呼鳴して脳の塩間な極地。一般に上流方面に現れ地上部隊の進 は我後河部隊の経撃に敗色減墜在【上市八日同盟】終州河南岸の敵

田外相を訪問し正式に之を手安し

ッソンピニール氏が外相官邸に廣、職議に酷り、正式に帝國政府の部

午後二時二十三分シの| 拓殖資社總裁 連順中|

| 提官 東上中のと

七日午後五時駐日ベルギー大使バ

「東京電話」 ルケ関係約管義日本 なる部文を作成しての内容に

廣田外相接受す

る對日回答日上書は一般語なる機能を加へ、

國條約會議再招請狀

可避としてゐるので

^{批烈}友田恭助伍長

といなる機構であり **美順乃主五個国程安** 印要水一原香時同間 はが明的であると 頃の見込みであるが

米代表の受けた 訓令の基礎

不れるもの、日間印

一、獨伊協定 而

那通

7 3

地玄黄

関務省順係の事構に派ずる集有力出目を稼いてゐるが、七日記者が に重要関係あるものとして内外の リカ代表の態度は問題今後の後級 以】プラツセル合議におけるアメ

の先決要件はポルシ 構成にあり

野菜車、努力飲品。 職接近の心事

数国の本義を再考せむ

易けれど多数の市民を有する場内。宣つて或は軍使を添し或は空中4、無辜の市民及第三國人に對し抵抗。**かくて** 無事際な域内が軍は、これを一幕に試験するは、ある配に對し、昨七日朝來再当に、の決意を認めた、然し乍ら被内の、立返言を要求したのであった。

#詳を融合しての を異へることをあくすでほつた〇 の対立は風を芋みつト一変を明か「供給された飛行機のを浮し返は空中と 無辜の市民及第三國人に對し撤譲 かくて - 無果然に城内外 く指りつよあり、戦

の敵に揺撃を加へ制戦の後田

今や全く空城化

八口も百數十萬から三、四十萬に

某國人の視察した現状

敵遺棄死體七百

批割は極めで「関係であつ

近山蘇城に日草族が帰勤と割つ一盗して居るにとれば資神江上流の重要地 ルは阿氏使節の参加で日本集分旺

叉近くブ市へ イーデン外相

旭杭甬鐵道を

働した我 に派型つて最後の抵抗を試みつく 切った〇〇部隊長は賦乎武力占派 中宣傳を以て八日午前七時までに

を確保し、對日政策をは終し日

神間統、雄栗多数を関覆した が地上部隊はリソカーン路を修保

開光を浴びつつ敗走の敵を猛迫中

上海戰況發表

兩部隊敵陣を占據

一集に戦遽せん証無込と、綽々た

大進展を齎す

第一國人に聯を及ぼすたが、確認たる支那軍の容る」と 〇部隊長は、僅か二キロの南方包

田緒を誇る城も黒煙に包まる

明くに堪へず **満聞遠に狂戦、その手**

ても取目だと知るた それが長期抗日の本 な日本を無殊的に破

號月

支那

事変画報

日では何とでもい 米の以で頭痛が

トガル

飽迄第二國拒絕

九國條約離脱の意見有力

を開力に審員しており、 政府は東にボルシュケ がルを批け、研究を がルを批け、 がルを批け、 がルを批け、 がルを批け、 が、 が、 を関する。 が、 を関する。 が、 を記述が、 が、 のでは、 が、 のでは、 が、 のでは、 の

定價六十銭(圖)。大日本語書品版中

痔

へなるべきを信じ、慶祝 畑、世界の平和に貢献す 関助実協定成立を見、人 茲に至るまでの努力

離みて天被を御何ひ奉

驻砌大使。堀田駐伊大

新春期になる実際飛行機の秘密 ・ ボイ、その女スペイに射 スイ、その好スペイに射 に大な腹を取行する飛行 に大な腹を取行する飛行 先生大傑作!

/集9首切れ近中、お早くお水の下さい! |大型観客 4 瀬徹、紫敵な出 家築え 11月版 此の外

義士讀物傑作集

る上海、北支方

の强盗就練

強飛降り

代理店至急求と表別の表別

原陷浴を慶祝 この時我がし搬は鑑 ツバが鳴り振く、

一部落を睨んで動かず全職緊張一斉射撃を中止、

半島に於る

見領の快報に接した甘蔗点機道知事は寺内最高指領 北支の皇軍首脳

詔書奉讀式官民合同の

本社特派員

河用

砲艦児學

勞尊

國民精神作興第二日



で治る

いな

| 単版記レコートは | 単版記レコートは

動脈硬化で脱こり耳鳴り良くし大に喜ばれてなる。良くし大に喜ばれてなる。良くし大に喜ばれてなる。中で揺出する。

と棚屋前の配置ある人 選頭、足爪、レ、きるか やリウマチで手足関作 でせき、たん息切れ呼 流んで困れる人は 動悸ふらく、腹秘

氣圧縮機 冷 房 藏 水

过本

アイスアーキ機 所張出域所互 番れ三七一圏山竜話電・抽番O七零腑岡府城京

町元岡市区港市阪大

を可認語可に放くいる 総化して原因から治院す

遠方はつらい能狀を詳し ・ 研究所へ遠離なく ・ 大坂市阪急線二阿藤側





菊花 学大 一下"学





でであるがは質問と











期間は十一人日から三十日まで

しないつもお苦

へあれば!

という。

本の水楽

强盗へ判決 老婆を斬つた

即子月を戦。 て侵入、 反物州反外

不滿を抱~一派百五十名は

府民館で氣勢をあぐ

の小児百日吸のはんせきのい。

一般たんせきの

を を 変楽店に

總發賣元 丸 石

製業株式會

帖

金金金 一五三種 十十類 間鉄銭

右妻服毒自殺

始まつた國民精神作興週間

努めませう!精華の宣揚

お漬りの

忠勇の尊き犠牲

譽の戦死阿派伍長名

れは靖國神社

大 味 遊 蜜



分成主アル 葡萄

店、百貨店にあり

聯盟特許

七川出帆代理店日 水 海 丸

ものです。 とる領ながには異なるに、 とる領ながには異なる。 とる領ながには異なる。 とる領ながには異なる。

非正川紀 代選店 | 匈联三倫支度 北海 | 1 元 | 日本 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 | 1 元 |

政に致し、上間的それ自然を

十一月五 日 村市出税 代理语 阿然德敏安居 十二月五 日 阿然德敏安居 活和出榜 代基语 网络连维安居 旅作出机 代理店 北 畔 商船縣 十一月六 B

西湖洋田縣 代评 宏田 商會 元山山州 八甲山 胡苹连签支度

田本の方は好る前 日本の方は好る前 日本の方は好る前 日上れ。駅間が成 招上れ。駅間が成 であったよい駅配 であったよい駅配

证海洋計斷層告

唐 計級 厥日往後 第一 本領市 《中華》 第 章 唐 (中華) 秦 市 元 前三 南 三 市 李 唐 王 市 元 前三 南 三 市 《中華》 秦 市 元 前三 南 三 市 《中華》 秦 市 元 前三 南 三 市 《中華》 秦 市 元 前三 南 三 市

内鮮運輸州出門

歴しすると云い竹様ですが朝鮮で │ 郷根を濠山お持ちの方や家の中に │ 越しいたします

に建設ださらればたりません。又「ジオラスと同様にすれば安全に参しるのですから選集の人られ様に繋」の球根もありまであいつれるグラー

が一番よい方法です、この外ゼノ

京城古市町四二、朝鮮公論社 ▲朝学教芸協会を報(十一月號) 近十銭、京坂古市町一四、朝鮮

ランサスとかチューベローズなど

に手入れをし磨か鉄の中に入れて

総攻撃中の森本部隊(平定附近

春楠ゑ球根の越冬法

ダリア、カンナ、グラジオラスー 李王家植物園 大谷元二郎氏談 にやる水がかくったり又直接地面一い古城を取除け価廉山繁極して

上三年朝

鮮年鑑八百餘頁

支局並に販賣店にあります

本社直質の分は賣り切れ

頭鮮に住む者、朝鮮で事実と養む者、朝鮮にて荒職する者、七の世親鮮を煮分知らんとする後班発行の昭引丁二年版「再鮮年業」は豫賢出来楽職らしい経濟を呈し、非常時局に直面し

一ヶ月にして既に本社直顧の分は顧問れとなりました。今後の購入絢香誌の方は、お手敷なが にとつて絶對に必要なこの朝鮮年鑑として指ふやうな費利行きです。お賦で登費以来わづかに

――」――――これできかの漢に溶かしたものに、纏縄酸と樹種とを終し質二の分量に進度、破安を、それら傷

面白い理科の實驗

燃えない紙

太原を目ざし進撃の鯉登部隊

町村君が歌印して「何だい。お鹿祚兼といふのは」

して燃えらつらない。か出来上ります、もよつと見て徹でを入れよく減み込ませておいて乾かすと、火をつけても決

映畵ニユース

には以て初めてかに落ちた

新規を変化、資産機構として自一関いたことがある。から連続としてはなるが、では、対している。との、体製部場所としても対している。 との、体製部場所としても対している。 これによいろく あつて、前親部隊と いははで初かって中での活動は、単一、東によいろく あつて、前親部隊と いははで初かれを検定したが、逆にしてロードエ 度とかい。変字があるのは商品の

上古で中には窓門、叉は情報と五地地、叉は唐主の用生地を示した

後文の先生などは飛ぎして藤 らる、この外に唐の前四を指揮 **岩瀬にら視込録、緑木豆に押**

漢學者が延を埀す

支那招牌の名文句



東京・生込・河小山町一、井本小十二(十二月代)四十

一分、二分、五分… ノーシンのんで

Mi.

新衣相換 (シンゴジエンオ) 流

接ば計文に離したこと。全括「これらの招牌の上や権に結化し発承接に括(ゼンチイキンツ)底(一語の常線(ゼンチイキンツ)底(一語の常線)

からいらラギオ

九年女イ会、(十一月號)五十

にれ渡とみ痛の頭

ほんとに頭も 日本晴れ

ノーシンの優れた点は 唯だ頭の痛みを速かに止 の疲れを恢復して、朦朧 るだけでなく、同時に頭腦

而も常用すれば神経の祭 たれた効果がありますから をよくし、心臓を脳補する

能効るな主

の 売れ、 化粧下等 の 売れ、 化粧下等 いいっぱ 靴 ずれ、 ともやけ、あかぎれ まけず、 皮膚病



スツと軽くなつて、 割れる程痛かつた頭が

重く朦朧とした頭が パツト明るくなつて

O O O

空の青さ、雲の白さ 思はず微笑むあなたです

たスポーツや旅行時のまたスポーツや旅行時のまたスポーツや旅行時のまたな配とたも 許を博してゐよす。 後帶來さして个非所な好

特の薬効を併せ持つてゐる

した頭をハッキリさせる脳

國産品を 愛用しませう

成分 に、傷の上皮形成分 に、傷の上皮形成分 に、傷の上皮形成分 に、傷の上皮形成 した家庭薬の新帆です。 サキシロンは日本で完成

藥傷外庭家の田武



ずの 手當は

傷 キシロンで

手嘗が大切で、手常を怠つたはどんなに小さくとも最初の

母に添ろしい病菌に侵されるやうな

傷日の化膜や病菌の侵入を防ぎ、症 みを去り、傷面には速に向芽や表皮 が出来で傷がなほります。

ぜひ一家に一罐の常備をノ

つけておけば、殺菌消毒力によって

性重をしたとき、すぐサキシロンを

しとは歴々あります。



|| ② 武田 發賣品

期東代理店 総監小西新兵衛商店 製造發度元 **銀狀武田長兵衛苗店**

最高標準の

二〇銭 三〇銭

87(1)116



養榮も味に理料肉 くよ るす和調 酒

であっさいまま質酒 ζ 類の如き濃 云ふまでも である事は に甚だ好適 衡を保つ上 取築養の均 肉食者の揺 をり 之が を保有して 林檎の榮養 るだけでな よく調和す 厚な食物に 等の點で肉 輕い醉心地 りとした味 造したシャ ンパンー また…

シャシ橋林



元寶麗 藥 會商 平丹

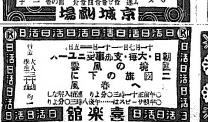








林檎から醸



眼科專門 **公眼科醫院**

岩田寧太郎 伸

哀れ、晩年の小野小町

唐澤醫學

博士推獎

花の色香も褪めはてゝ

医学博士 公 炳 禹 草城府標澗町十字街(電話光1252番)

从今又之丰竹松。 DL: 田二 田一 数開映映上 り上日八 8-40 1.65 ん や ち 銀 る え 虹 こ 7-47 3-10 11-60 天 エ エ こ 7-66 3-20 11-68 手 選 形 花 1 9-02 4-28 12-15 ス ー ユ ニ ニ 9-18 4-48 12-33 ンモロソグンギ るの 電鈴頭のの

三部花浪———

網五郎剛手を腸に角を上げて見した上、夕四郎の妻に有のまえを

小田原へ一変差り角太郎を引摘へ感を掛けたのこと思まるより後ご

じません、兄弟可扱して交通に 清集は在じません、母の機時も は申しませんが、此の事は海隅権

生意気といった。 山立のご立くのの人のの心に はなのに、 のでは、 ので

朝一へよーツ歌れ入りました、私に居たが全然進つで居る。

一渡されました。されば斯る鍵刀 51人に豪を出立を共方等が推示しません、東子の受懦、死丸る脳が1人に豪を出立致しまする目に父母し、卵電電視をお認べ申しはいたい、1人の変は哲学の現を、領きまして、1人の変に人りました。私、表の一変は哲学の現を、領きまして の歌であるさと、細く中見を示し、て遊ばせて鳴きたく、関三耳の間に成つてはならざるぞ暮き滞止家。縁に見た一目、早一言、物の衛に 御暇を下し流かれまするやう、 して、土れより御手能を頂きたい

作性 表(0 表)0 位限 元(0 (1-6) 位限 (1-6) (1-6) 位限 (1-6) (1-6) 位限 (1-6) (1-6) 位限 (1-6) (1-6)

と疑って居るといふことも父安井 げの形據には御所家より御同様を

に加州地に供して初めて知りまし 四郎。ほの権料も在じません。御前一緒け下し置かれ、私に縄打つて小

恐れながら申上げ 田原なり神奈川までお連れなっれ

の山田原成五郎と中子旅館屋で泊一派「エ、イ切れく」まで売りまして部が川十弾部の横一は握ろございません」 まする、私名代として父の代、私 結婚ひとして兄の安非角太郎と云 、る者が、小田原を立つて清奈川 用「其後は決して相殴らんぞう政 横口左根でございまするか、然ら らんぞく

何となく今都へれば優調のやち、一人を江戸へ先へ立たせましたが 兄とは云へ、此の劍を丁り替へて でまして斯々斯郡病氣といふて私 向に張被り、ヤッと切り下ろせばと引抜き、構玉郎の後へ懸つて眞 安非親五郎様義の音はベッたり 岩侍太刀の棚に手を掛けヒラリ

会り、兄角な郎を引つ扱へ吟味い、是まして、詩祭川艦の種の山田屋へ つまして、詩祭川艦の種の山田屋へ つましたらら、恐れ入りましてござ を に及ばん、常常できせる。現は他に、別のを観は、別修置王の優れたる。 がは企んで常来の例を権上げんが、那の存職は、別修置王の優れたる へできり、た。望くませしいと申 即くでございます。 州『點れ、其の学派は其方いたず」たして御常家へ………』 子前に巡惑を掛けん歩へでござい 石に頭を打つて目を避す、磨としへ上げたから、関仰向に倒れて頭 是れはと動く難を捉へてダンとしつたからボロリ直線打ち落とし、 に落ちたかと思ひきや、ヒラリ館 へ論践く其の利手をピジーリ を移したることのあョロー

木俣豆爛品

共・紙・百貨店にあり

一龍齋貞丈演



わが新上陸部隊の進撃

域に向って大道窓中である。これがため御果に久しく場居した酸は同夜折 海八日赤星本社特派員發」統四國上原北海中の政が上陸新級 完全に包閣されるのは 最早時間の問題となつて來たので で飛ど溜走し南市方面は目下大派駅に陥ってゐるが、 今中大上海が日本市

最後の鐵道玉遮断

遂に松江の敵軍を包圍

松江西南方 附近を占據

各敵陣奪取

上海前線〇〇八日同盟] 七日

数を完全に比しての先頭河域は 長編〇〇方面に進出し後継記録も

の数日本の猛攻に堪へかわれ、蘇州河南方地區の敵は我が

【太原城外にて八日同盟】太原攻城城は八日午後に至つて益々痛烈を極め午後三時砲兵隊の集中射。によつて北門の栗栗大きのあり、城市に第つて北西南部別々に全省兵領の時を早めつよありかって山西奈吉に来馬が明時もがかれるとしてあるの栗栗大きのあり、城市の六掃藩工作は迅速に進展の八日夕刻には既に城内の半分を了へ、萬歳の撃は全太原をゆる敵皇軍の前には一たまりもなく、「に落城の日は來た、先の上端正統の政党により、永永和皇教と政権を立て大場、高地の移は三年の一

【天津にて八日・宮田本社特派員發】常常岡県天麓の慶応をたのな、難攻不落を誇った山西省の首都太原も、

る我北方部隊と杭州南より北遠し「れて袋の鼠となり今で飛ばか上海」となった 選択しつよあ、数十萬は南北攻略第の中間に挟ま

路に立つに至りを報に亙つて大動を放棄して總退却するかの爪人被 わが航空隊

大爆擊

時間の問題

英資本と容共政策 個画的媒弘たる上海里でも根で たのだが奏が利きてぎて日支の 支那を編つたまでは上出来だつ

た途端に今次事要が後載 に英の勢力が腕を伸ばされ るがソの共産主義と英の資本

财

膜

炎

店商邊田歐東

米格差

の機選は悩みに促逝せ、安排中であった期回通

近く開展を経て横行御路前

かとられ病者の間に関印を丁し

は競漫せられる段軍

しまでなってゐる。 故し右葉文の字句を供 については陶者の間で

Ţ.

乗用外 アピラテ

兩大使

京状を転換せしめます。 の上皮から深端内臓に高透 の上皮から深端内臓に高透 で表点、機能を去り、適田 でも表示機能を表り、適田 でも表示機能を表り、適田

大田の乱

要なにあり 円二十編

T R 3 7 1

時山十二分相前後して で訪問 定成立に関し依接を 外相を訪問し日週伊 駐日獨選大使は八日

米國の行過ぎ 對運動

からいいのからいのからいのからいのからいのからいのからいのできません。

村病院

カ上院有力者間に九 ノ七日回盟 七日

に行う終している。 に行う終しにアメリカコ を取扱としてアメリカコ を取扱としてアメリカコ 反針運動が建りつくも **城を総る現圾育の外交** 大院に関係は、一般の関係に関する。 大学に対象を表現のでは、一般のでは

リス、フランス、ソケー 網週に盛みアメリカが、その理由は先ヶ殿屋

京城南大門通二丁目百四十番地ノ一

四分程度掃蕩城内旣に [北京八日所盟] 乍後三時

部。然為此則并這座銀行

資本金参千萬圖 同所共十四ヶ所並に内 の 所共十四ヶ所並に内 に 全種音地に支店返出

りと云ふのである。是点の心の渦中に捲きままれる。ファリカは遠に同僚的

れる悪念があり、一邦との非母既得に引

支店 東京大阪。岡山島館、高松、

につき病理のため来社(最朝鮮選手機能育)全、民朝鮮選手機能育)全、民(城大健科教授、即

部工業的長 八日午

経二十分人が挑衅を 中國大使用以其官 (別籍金書編号) × 日

(月刊カタログ進量)

|規制の附近別器に残ってゐる土 | 附近の野山縣下における土民事の

松江めざし 進撃また進撃

追撃し、松江地方に

一時頃松江西方

退却の敵に

に向び追却する版の都東沿陸を結

藏

財理一帯の地區には最単の行動が、胼長になつき女まで出て来て投が、提展、選督の勢いで賭推した。金山一十ことを知つた決部は、然ら党が 日の丸はためく

附近に開かれた第三突撃路から栗飯原部隊は城内に殺害、大場、軍島廟部隊に呼應し、なほも城内の各美所に立籠

舊太原城 や攻撃

一、城内は目下四分種度治法

人

館りに観選だつたため多数の主民

って抵抗をつづける敵を攻め立て次第に押し詰めつゝあり、

二、栗散東部隊は且下城内に

量を開始、午後二時北門衍近に

-一でであるがその第一 が交政策反射運動を建 りがであるがその第一

香港重慶新空路

金いでゐる、右新空路は重慶から | 心際最を爆撃、多大の効果を収め

じたばたする支那

質問・樹椒、椿州を興て香幣に至

し帰還した。濁点酒々たる黄河は れら破壊せる軍船及助けを呼ぶ

香脂間の至一四塩を精・するので時節構造要能養

近一僧は大混乱を呈してみる

、敵を追

家の〇〇櫻は熊浦郷方面並而太郎 中の軍船及び両線に構築しつ、あし〇〇八日间型)七日午後中島部 の栗面霽河及び艦網を空襲、渡河 敵は大混亂 大黄河に押流さる

一絶を再度回答

けふの閣議で文案を決定

帝國の態度を闡明

治理こそは症に肚根を極めたもの

來た城壁を血に染めて倒れる戦友

然行した我か大場、許島副部隊の一から機能小銃の十字論火を浴せて

かけて進撃する、敵は疑惑の左右一隊が占領、提撃前く感激の

げた南部線

急速に教学を認めたが、これ

總督さらに

を要素しがること (・変異しがること (・変異しがること (

各地震店にて販

、あんまり仲がよいの、なんまり仲がよいの四級を乗しんでゐた

とさいホールからホー エ里リンクへ他人入ら

せらだったよい関氏

於て採門及び北門の一番乗りを

とに太原平野の南端分州に向け進 ひに乗じて急先鋒たる森本部隊は

敢然、十字砲火を冒し 介体の 線において影響戦を 整直

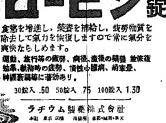
践された職は太原平野の崔ら汾州 おいてー 追職職に移つた、太原におい

その主人は難して行 んはあつさり表明して必要はない。所能独 く、人事も別にやる

强壯·强心·疲က恢復k

11/1/ 食徳を培進し、荣養を補給し、疲劳物質を除去して領力を恢復しますので常に領分を実験ならしめます。

は苦らあるが、



魔絨掘の下に各委員、候事出席して開会、地頭市總督の利主があって引ついる無案。内鮮人徹譲委員會第二回委員會は八日午前十時から本府第一会義等におて南總督職席、大野政御總 勢の通過に伴い現行朝鮮教育令に大政正を加い、内鮮共勢を目標に毎に設置された臨時教育 皇國臣民たるの

信念を培養し **南總督の挨拶要旨**

斯の如き国民の全党運動として

御多端の際にも不拘御快路の上委員を御願致しました處時局柄 れましたとを深く感謝致した本日第一回の合合に御田席下 する 朝語の旨速をである。 に於ける教育の本旨 であります、同合の清神は是来であります。同合の清神は是来る。 四年野人教育の親族を向上して御護超線の上に於ても施設の質能に終ても

何であるかと云へば、今日半点

北

支戰急

鹽田擴張の 人夫が不足 等げたが、この国民は朝鮮局に於

1 子 ま こ して これがため 母素計 建に用 ない こ とによるもの と、これがため 母素計 建に用 ない こ とによるもの ま 男へて あたが、本字は全 南よ ひ 良に 五覧を置いたことによるもの 多男の 建田 複製人夫の 無機が一のである

のに親する法律が一族に依る命。 一定輸出入品等に関する場時指。 一定輸出入品等に関する場時指。 「明却十二平法律等九十一四 一定輸出入品等に関する場時指。」

一 学場今日の質問を大節であります 麗は | 佐四千九十五萬四千頭の大 量に造し本年の豫定所の二億二千

三百五十三町歩 製庫

十一月六日取扱

Liil.

皇軍慰問金 (群を略す)

總計金十一萬四百四 京川縣教員會 八岐也

七四七十九錢也

鹽成績良好

採鹽數量は十年度に次ぎ

深張の攻犯極討を加へ之が振興、以は施設内率其他に関しまして、政は施設内率其他に関しまして、政官の制度とを提唱致しまして、政官の制度

日計金 二百圓也 朝鮮防空器材献金

京城の熊原原 表計金 六萬九千七百京城府県间町 表計金 六萬九千七百







品質は躍進的改良

であることは多言を要したいで

行兵へ 塚校一致の 財間金二百町を一茂海道上 里普校三年生 尹相甫若は ☆公散戦を開して勇敢する第一戦 十銭と何れも具軍時間金へ、また、の生徒が運動分を中止し、迫り 十銭、水原小島校同総育からは六

一同から五十回、端川邑芸者教育

耐人食から五十四、同都古城里民

眞の勝敗を決する時

E日本社へ寄託された愛図戲金の

島鉄後の赤鷺を燃上らせて六七一審託したのを初め當川郡教員會で、先生から聞いた話に感慨して自ら 進が運動資を中止し、迫り「十銭、水原小島校同憲章からは六、金のほかに成者鳩川郡政上の槇明「京城郡薬事後今校四晋卅、公管六年生は本武見夢の際三圓五・総製に、これら小属民の歴象な城上で帯蔵・大田の田・大地 観いて得た一圓四十八线を防空器に合います。

小國民の熱誠光る

もかくも戦ひの前途は、たは様々 の山間、東那地方政権の預立等 たわが独軍の所難による後方の原 量の海上封鎖による支船の いま催かし競ひの部一歩

四銭からは遊べ割るは、て、城日脈日を止めよと響きし、「から大大鬼滅を始めとして江城、は巡く第一事を降か、 かね て日本は変那に對し、日本は支那を何等勝蹶してゐない

からだ。大場旗を始めとして江西、

上海にて 本社特派員 後

に及んでは常初の不機大方針や、 なほ女雅斯甕に致命帆を爽へたもに及んでは常初の不機大方針や、 なほ女雅斯甕に致命帆を爽へたも、これは

い、縦はいま北は勿足、南は南地 の死命を誤するまでには、なに機

から蘇州河の城に前城城地を布い 次には江陰から蘇州、太湖の沿澤

は國民に對して、その忠誠と耐

(其二)東

らいのであるが、一面に「生活

あるが、その近衝宣和、松井最高 料一高の多数に上つてるるが との近側で対したがであって、 だので感じれて、 これを見軍の作戦に (領土野心なしの方) かてあるのであって、 一般ので感じたので が一高の多数に上つてるるが ちつかい これを見軍の作戦に (領土野心なしの方) かから かっぱい これを見軍の作戦に

のである、この続きで日本軍が、とによつて、今天の事變は起つた

れ、公然日本に對して挑戦したこ 軍が保安隊の名によつて軍隊を入 釈風域として、双方の数兵を保留

い、小臓を強い以外の何もの

ないとお肌が

日の沈顔後や 楽査クリーム



。店衙書政保久 Markit

● 舖本

実化サテウ

と弾力のある激刺とした鷺く程の若 を除き肌アレを解消 正價 · 五十五義

印花

萎縮して榮養が不足して來低くなり皮脂の分泌機能は空氣が非常に乾燥し氣溫も 分を興へ皮脂の新陳代謝 一代能一旺んに な渗透作用でお肌の深部に充分な有効成 ドで輕くマッサージをして下さい。強力 ますから充分に手入れをし 就験前には鞭質の 眺くアレます ― ウテナコール

a Pobloboboba

+ 力 な栄養 ジを から

素が心 强素

肌を生む!! 美 L V 健 康

偉大なる哉女性

國防婦人會本部結成式で、南線督派

一 耳ガツル使用出来得



記該飯塚勘一

器食子磷物 荒物 金用庭家 店商新中田



統 萬年筆卸廉價提供 澤井商會製作

本品なら…

料髮洗級高

鹽は大切な軍需品

海國日本が多量の輸入

無駄使ひを止める

坂井耳鼻咽喉科醫院獸

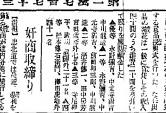
食卓メモ

ALL OUT OF THE SHAPPOOL 洗髪は なく、雲脂の悩みも 赤毛、切毛の心配が 尠く美髪を確保致し むから冬へかけて コレに限る!! お髪を一層大切に! りの洗髪料は、貴女の美髪を 要なしにします。御注意を! 〇ミツワ石絵本舗 丸見屋商店 明線人 洋巌 二 団分 日本 風一 回分 豊 ぬま含をダーソ灌洗

州商収締り

感激の日は來た

回顧する前棘の道





第一日仁川の行事

全様で暗暦によって行ふっとい

慕忠會例祭

小學校は明治四十年五月 卅周年記念

の鱈卵放流

に可能なだけでその他は概ね。「すな丈三尺に漢字の出来消害で収」就作成頃によればこの温地を良俗

問城」府産業係では昭和九年上

開城の特産

辛運見に續くヒツト

は五日附で、六日正式に履命

- 擦咳喘息一切の麻状を治し -肺炎肺膜等への變施を防ぐ-

保健の闘門

咽喉を護れ

療

لح

豫

防

清州邑副邑 長更迭段令

はあるまいと期待されて、府民に呼びかけて生活機式の改善

將來を期待

充分で所属下腸層から質物の透透 風は利い外に過ぎたかことが動し

L四月中旬並代を作り「レ天意びである。 元末 長職郡下 |

れる平壌府

当出 电北道内梯花共同玩量

種)、敷落坪を買取したところ何れ

近輸入不能で阿内が優と一大便飯

【永戸】 沃川明倫舎では九月午前一を祝揚することになり来る七日ご一動で郷便貯金製銹を行つてゐる

(野に對して速かなる治療が出 お子供さんの出田塚、 戦珍塚 ました。 擬咳喘息一切の病狀

※、又たんせきの兆候ある時

これを用ふれば像防となり、

優良樂龍角散の需要則となり

沃川明倫會總會

の間に質質受渉が行はれてゐる。 素桃に豚脂用鶏道を弾さるものとしてゐる大阪市西馬小松御育と、 ぬる、しかし何れにしてもこの 閉で削級の放立をみず、現在筋弾。 かる、しかし何れにしてもこの 閉を抱き且へ氏の家庭は不幸検さ。 の折動が 行かねものと みられて

煩い程の買收交渉

東京八田歴氏との間に十成間で賣

内地で盗んだ品を大田に隱匿

窃盜行脚の前科者

要名に付款が終り、「独で昨秋九月 | 取(時度五十五同位)を登取して一合となり、入気者に左の通りで入田泰日町 | 丁日禄に帰及"ざ」― 前にあつた京野 | 11 六人属 | 一十五百 | 一下版、平均 | 丁内版の | 「大田 | 朔阳魏炯水が行木町立れ(剛成(げ)は去る十月|| 丁九百 | 丁版、平均 | 丁内版の下九町立門 | 東京 | 一下版、平均 | 丁内版の下、下上 | 「大田 | 新田 | 東京 七十八名参加 し、機能

| 一合となり、入賞者は左の通りで午

忠北の棉花

株券の配當さ事業税金さで

卅二萬圓の新財源

十百餘米の高地帶に

果物理等工動組を敷へ、中には相るる(寛偶は萩和工場)

みごと質った稻

咸南長津郡の一需年の努力

明年本から飲活機内の熊鷹は水樹 ら四年目に回游する智性からんて

質を結ぶまで

不幸二名の犠牲者迄出した

して此の褶を終る

村製藥所

【開妹】開娘の婦人達は跨しく歌

で二十年間にして帝語が強したそ

の済手は既に確實で魅かね狀勢に一行場に報應。蛯茲官局村中佐は同

流するのであるが頭に閉化してかし糖は腫化では相常古い歴史をもつ

一度出值汽车度六四、本

さけの遡行

今冬更に十一億粒を放流

早後一時から中央劉場で邑主権時 局・綿 演 【忠州】 去る二

再び過行して来るものなることがた蛇の放流に光明が輝され、鰤は

【釜山】腰南源。(組合では鍼形物内に鯉の卵を放流|特と興味をもつて独自されてある)最びで二日摩北道に薫伽して来た

府會で原案を可決

一日三回服用

縣 朔 質、身體過遊祭整路時、成朔兒童 神身の過勞

特に一般虚弱

力を昂進す合理的並に身體細胞の活 血作用を置む

然を増進し神

教問袋

てす。

ます。歐に家庭必須の常備樂肺炎肋膜炎等への變癥を防ぎ

同祭に通び好評を断して居ります。 で原文、探解に便なれば、駅町の樹 本館の勤勉は勿絵、容部は既平にし

香. 1 観がたし

量; 適 職 硼 1/E3 て服易く 用植 な

主治 効 能 Ļ

そ <

階版の動物なる 気質支法、心臓性等一切の たんせき ぜ -切

咳の 報器に 僻む

各能観熱及は無熱の 氣管支力 流行感胃の カラ際に関む タ 噯 ル

お子供さんに最も危險なる 百日嗳、麻疹嗳 肺患者のせき

本創獎記藤井得三郎商店 東京市輸田區園島町

電話液花(67) 九二〇五番级 赞 樂 京 九二〇番

六四十八四十八日日 十八日日 日日日分分分分 ▽全國薬店にあり 三二一五三個 十十 四回即鉄銭

指導委員曾





反省戒心

生活改善

國民性の反省 産 愛 用 前 費 節 約・

投帯の第一級の背後には國民 店職内の京城軍事後短難量には十 てゐるといふ有難・で職塁では青 る伽熱・出版を夢を歌南する楽心は戯信氏水となって現れ、京城、の郷とが数者の一捌美族で埋めら、鏡便店民の懸けるやうな引軍に暗心に戯信氏水となって以府民の赤 立つのは府民大戦の戯金が多くそ ゐたが、意外にも十次間を突破、北支第一級に送る七十次所民の赤 立つのは府民大戦の戯金が多くそ ゐたが、意外にも十次間を突破、

深い町に「スキャキできます」の「

總督も口を動かり

集募社本 歌讃民國

ゆうべ倭城台官邸に行はれた

にお稽

彖壯明朗な作曲試演會の情景

かいでく題地あり、みなぎら新

た八日午後六時から倭城楽官邸の

鹽原學務局長談

京城府主催の旗行列 強い、愛國行進を展開、一方に皇軍の 萬歳を年職、『蒙院皇平も歩く』足並抑へて擧國一致の力與財の歌」を吹祭しつ、十三萬人の単生を領点、 受修 遠崎 清泉財の歌」を吹祭して、十三萬人の単生を領点、 で修 遠崎 清泉 はいかい これ 氣を見よと計り滿都を戦捷祝賞の一色で國防共協定成立を祝繭して、 神國日本のた一方には世界史上に燦然たる 日、獨、伊

「宮田特派員後」天津事製 | に名誉の職死を遂げた職場隊副館

東站で戦死の義勇隊員

8- 诗内歌尚指哪官(代)場內羅領

化火で合圖
年前十時前日の治地、京城

教育審議會の 仕事はこれから

第一食機壁に換て其の単一回姿質は葉定の通り入日午前十時上 に設置せられた健時教育権議委一の下に報議を進められた 鹽原學務局長の談

献金廿八萬圓突破

葉煙草を助ける 電力を停めるか 爆煙の醸す専賣異變

のではないだらうか、大幅現に除

不是 林龙 在

國官當指定工總

山繃帯に籠る誠 勇士感激の義金

れが造诣のやらに総日終夜驟け、が機大され、皇軍が一歩々々

死して餘榮あり

八日龍山香橋署是宛に流波の城江、れを受取つた同郷では「大祖成仏と組立一勇士勝川是祝君から」して下さいと送つて來たので、 弾丸雨の如く降る〇〇敗線に縦を上む、そんた紙まれない人の一助に

れを受取つた同響では「大和武士

給料の一部を龍山署へ

本橋交叉点 楽毛白級高ヌレブカ對絶 紫海球



大学を 大学を 大学を 大学を おりまる 大学を 大学を 大学を 大学を 大学を 大学と 一ブ

本社の『國民讃歌』に































H 第二年 東京 南岛川三丁目 電話 4028 1060 年 第二年 東京東岛川三丁目 電話 4028 1060 年 第二年 東京東岛川五丁目 電話 4040 80 6 福州 1165 年 東東岛河 東西藤夫666 7春